

# 烙印の紋章 <2> 陰謀の都を竜は駆ける



[烙印の紋章 <2> 陰謀の都を竜は駆ける 下载链接1](#)

著者:杉原智則

出版者:メディアワークス

出版时间:2008-11-10

装帧:文库判

isbn:9784048673471

初陣で勝利を飾り帝都へ凱旋したオルバ。都では皇帝の専横が目立ちはじめていた。反皇帝派の不穏な噂を耳にしたオルバは、真相を探るため建国祭の大剣闘大会に出場することになる。ガーベラからの使者ノウェ、ビリーナに敵意を燃やす皇太子の義妹イネーリ、オルバを操ろうとするフェドムなど、帝都は様々な思惑の坩堝と化す。

そんな中、オルバは皇太子と剣闘士、二つの役割の間で揺れ動く。一方、ビリーナはオルバへの複雑な想いと、異国の姫という立場の間で思い悩む。はたして二人の関係と帝都を舞台にした政争の行方は——!?

作者介绍:

目录:

[烙印の紋章 <2> 陰謀の都を竜は駆ける](#) [下载链接1](#)

标签

轻小说

杉原智則

電撃文庫

烙印纹章

杉原智则

輕小說

日本

《烙印紋章》

评论

其实看到第2卷，最大的困惑还是男主行动的动机，复仇也好、理想也罢，似乎一直处于懵懂中就决定了自己的计划。到了最后似乎又像是因为看上了女主，但两者之间的互动又压倒性的不足。能体会到作者想写一部浓重的作品，不过以少年漫画式的方式推动显得有那么点不伦不类，希望能在后面看到男主的小聪明以外的大智慧，想要帅未必要亲身犯险。作者在书中似乎有意的批判纯粹的理想，某种意义上像是刻意的“反主流”，不知道是为了后续主角们的成长而欲扬先抑还是真意如此，静观后续。PS：译者把强奸故意写成QJ，要不要这么可爱www

暗杀的戏码重复了好几次...算是一个缺点吧...在之后的故事中又完全不再有暗杀了...\_-\_-

比起第一本，这一本的政治阴谋就显得过分地简单了……

越写越像网文的风格。。

蛮期待假冒皇子和腹黑皇帝这对假父子之间的对决的。。。

[烙印の紋章 〈2〉 陰謀の都を竜は駆ける 下载链接1](#)

书评

[烙印の紋章 〈2〉 陰謀の都を竜は駆ける 下载链接1](#)